

2020年12月18日

株式会社ファイバーゲート
株式会社 BizGenesis

通信資源の有効活用『デジタルエコロジー』で IPv6 提供を実現

～法人様向けニューノーマル IPv6 をリーズナブルに提供します～

株式会社ファイバーゲート(東証一部・札幌証券コード:9450、本社:北海道札幌市、代表取締役社長:猪又将哲、以下ファイバーゲート)と、ファイバーゲートの子会社である株式会社 BizGenesis(本社:東京都港区、代表取締役社長:野呂公平、以下 BizGenesis)は、法人様向けに通信速度を改善する IPv6 によるインターネット接続サービスを開始しました。当サービスは、すでにファイバーゲートで活用している通信帯域の一部を法人様向けに提供することで、市場価格と比較して廉価で提供することが可能であるとともに、通信資源の有効活用という「デジタルエコロジー」に寄与いたします。

インターネットの速度低下にお困りの企業様やリモートワークでのセキュリティに不安のある企業様などを対象に、IPv6 への移行をリーズナブルな価格でご提供します。

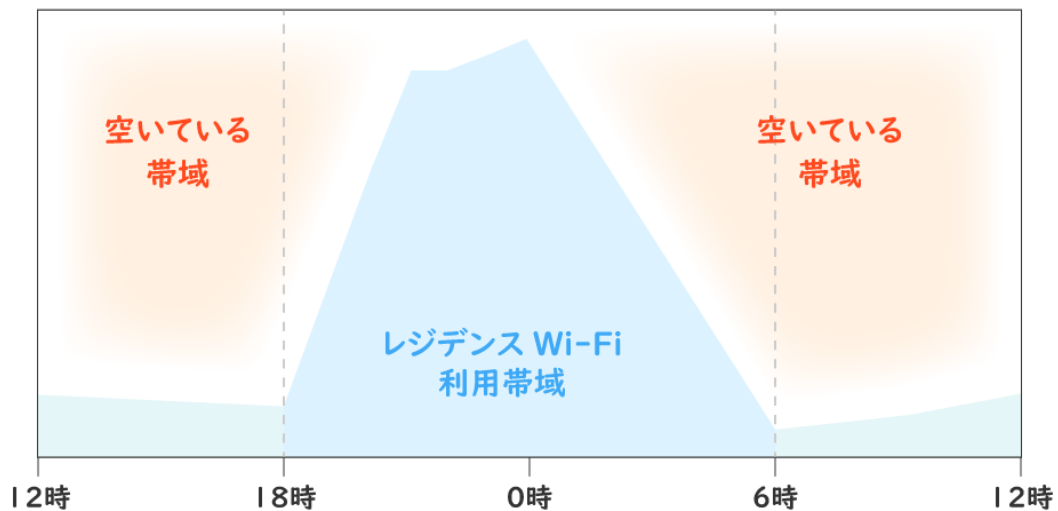


■サービス提供の背景

ファイバーゲートでは、IPv6 通信帯域を主に同社で提供しているレジデンス Wi-Fi サービス向けに利用しています。

集合住宅向けの利用のため、日中はトラフィックが少ないため帯域が大幅に空いており、この部分を法人様向けに提供することで、通信資源の有効活用を図りデジタルエコロジーに寄与する事を目的としています。

既存の通信インフラの活用を最適化するソリューションですので、リーズナブルな価格での提供が可能となっております。



■サービスの特徴

(1) 既存利用の帯域を活用するため、廉価な IPv6 サービスを実現

既存利用の帯域を有効活用するため、市場価格と比較してリーズナブルな価格にて IPv6 サービスを提供可能です。

(2) ファイバーゲート独自の帯域コントロールで通信品質を改善

サービスの利用形態に応じた帯域の割り当てを自動的にコントロールする機能を有していますので、バックボーン帯域の効率的な活用と、通信品質の改善が可能です。

(3) 自社開発の IPv4 over IPv6 通信ルーターである FGN1300 の同時提供が可能

ファイバーゲート独自開発の FGN1300 は、IPv6 (IPoE) / IPv4 over IPv6 通信に対応しておりますので、より快適な通信環境の構築を実現できます。

クアッドコア CPU 1.3GHz を搭載したハイスペック仕様、PoE 受電対応のため電源工事が不要です。

(FGN1300 機器詳細ページ

https://www.fg-products.com/products_detail/fgn1300/)



(4)IPv4 の固定 IP を1つ、標準で付与

クラウド時代には必須の固定 IP 付きですので、別途オプション契約などは必要ありません。

(5)VPN ルーターを使って VPN を構築することも可能

VPN の構築も同時にご検討の企業様のご相談も承ります。

すでにお使いのルーターが IPv6 対応であれば、設定変更のみで対応が可能です。なお、その場合の設定変更も承ります。(※1)

また、NTT 東日本のフレッツ光クロス(最大 10Gbps)のご利用も可能です。(※2)合わせて、光回線のプラン見直しによる通信費の削減に関するご案内も可能ですのでお気軽にご相談ください。

※1 既存ルーターの設定変更は、遠隔操作にて行います。すでに固定 IP がある場合に限りです。

※2 光クロス対応のルーターを別途ご用意致します。

■サービス主体と今後の展開

当サービスは、BizGenesis が提供元となりますので、BizGenesis とのご契約となります。

また、BizGenesis は、本サービスを直接営業による販売のみではなく販売代理店となるパートナー企業様を広く募集しています。IPv6 によるインターネット接続サービスは毎月の利用料が必要ですが、販売代理店様にはこの利用料からストック収入として積み上げて頂くためのインセンティブを継続的にお支払い致します。

~~~~IPv6 に関する補足説明~~~~

■IPv6 通信の概要

(1)IPv6 とは

IPv6 とは、Internet Protocol version 6 の略で、これまで世界中で使われてきた IPv4 の次世代通信規格です。インターネットに接続するすべてのパソコンやスマートフォンなどには、IP アドレスが割り当てられます。この従来から割り当てられていた IPv4 が枯渇するという問題がありましたが、これを解決するために誕生したのが IPv6 です。IPv6 では、割り当てられる IP アドレスの数が 380 澗(かん)個となり、IPv4 のアドレス枯渇問題が解消されます。

国内では、携帯各社が提供するインターネット接続サービスで IPv6 アドレスが標準的に利用されており、世界的にもコンテンツを供給するサーバー側の IPv6 対応が進みつつあります。

(IPv6 対応サイト:YouTube、Gmail、Facebook など)

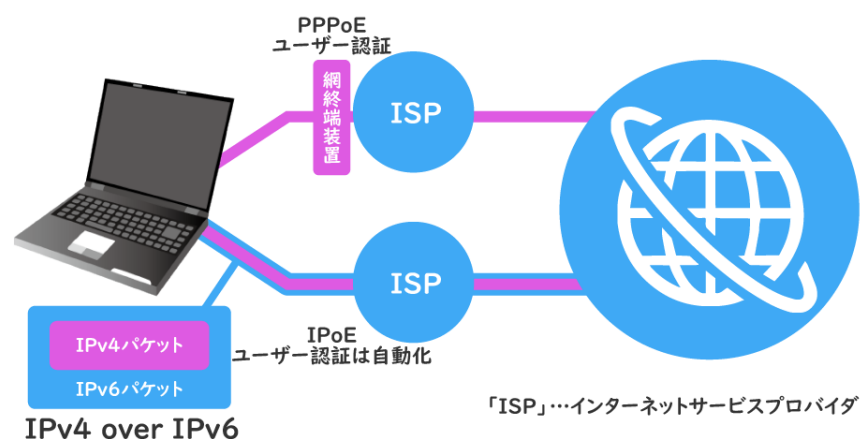
(2)高速通信が可能な理由 1 ~ IPoE

NTT のフレッツサービスと一般的なプロバイダとの組合せによる従来のインターネット通信(IPv4)は、PPPoE (Point-to-Point Protocol over Ethernet)という通信方式です。これは、アナログ回線による通信をしていた時代から続くもので、フレッツ網とプロバイダの接続部分がボトルネックとなり、通信速度が低下しがちです。

これに対し、IPv6 の場合は IPoE(IP over Ethernet)という通信方式で、PPPoE の場合にボトルネックとなるフレッツ網とプロバイダの接続部分を通ること無く、NTT 東西の NGN 網(次世代ネットワーク)と直接接続されるため、高速通信を実現しています。

(3)高速通信が可能な理由 2 ～ IPv4 over IPv6

ユーザー側が IPv6 通信に対応しても、コンテンツを提供するサーバー側が IPv6 に対応していなければ、通信は出来ません。しかし、本サービスでは IPv4 over IPv6 に対応し、IPv4 のパケットを IPv6 のパケットの中に包み込んで運ぶため、IPv4 のコンテンツも IPv6 の通信方式で快適に通信することが可能となっています。



～～～以上～～～

■株式会社ファイバーゲートについて | (<https://www.fibergate.co.jp/>)

独立系 Wi-Fi ソリューション企業として、機器製造から電気通信サービスまでを一貫して手がけています。ネットワークに関する皆様のお悩みを一緒に解決するお手伝いをさせていただきます。

マンション・アパート等の賃貸物件オーナー向けの『レジデンス Wi-Fi 事業』と、観光施設や各種店舗・商店街、商業施設の施設運営者向けの『フリーWi-Fi 事業』を展開しております。

あらゆる通信サービスのゲートウェイとなることを目指し、これからも様々なテクノロジーの開発や活用に取り組んで参ります。

会社名:株式会社ファイバーゲート【英語表記:Fibergate Inc.】

代表者:代表取締役社長 猪又 将哲

所在地:〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西8丁目10-3 第28 桂和ビル

設立:2000年9月

証券コード:9450(東証一部/札証)

電気通信事業者 登録番号:第358号

■株式会社 BizGenesis について | (<https://www.bizgenesis.co.jp/>)

法人向け通信サービス事業、FGN プラットフォーム販売事業および法人向けデータセキュリティソリューションサービスの開発・販売を行っております。

会社名：株式会社 BizGenesis【英語表記：BizGenesis Inc.】

代表者：代表取締役社長 野呂 公平

所在地：〒105-0012 東京都港区芝大門 2 丁目 10-12 KDX 芝大門ビル

設立：2020 年 3 月

電気通信事業者届出番号：A-0217974

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 BizGenesis

TEL：03-5733-5565

e-mail：info@bizgenesis.co.jp

問い合わせフォーム：<https://www.bizgenesis.co.jp/contact/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社ファイバーゲート

経営管理本部 経営企画部

TEL：03-5733-1969

e-mail：cp@fibergate.co.jp